

(12) 非常勤講師等

① 非常勤講師

ア 大学院学校教育研究科

授業科目名	時間数
いのち教育論	12
学習臨床学特論	8
キャリア教育特論	30
心身医学特論	30
学校実験計画法	30
学校カウンセリング特論	30
臨床心理面接特論Ⅱ	30
障害児病理学論B	30
漢文学特論	30
政治学特論	30
数学教育学特論B	30
理科野外観察指導実習E	15
理科野外観察指導実習H	15
理科野外観察指導実習I	15
日本音楽演奏研究	15
複合造形研究	30
住居学特論	30
教育課程行政特論	30
食教育特論	30
学校多変量解析法	30
解析学特論	16

イ 学校教育学部

授業科目名	時間数
教育方法学	30
進路指導・キャリア教育論（旧授業科目名：教育実地研究Ⅶ(進路指導論)）	15
生涯学習概論B	30
心理統計解析	30
養護内容	30
子どもの福祉	30
子どもの心理と行動	30
社会福祉Ⅰ	30
社会福祉Ⅱ	30
漢文学講読	30
比較文化A	30
英語文化圏文学Ⅰ（旧名称：英文学概論）	30
英文学演習	30
日本史研究B	30
社会学概説	30
考古学認識論	30
算数	30
算数科指導法	30
数学的経験と学習過程	30
音楽	40
器楽セミナーⅡ	10
合奏AⅠ	30
合奏C	30
独唱Ⅲ	30
図画工作科指導法	15
中等美術科指導法（課程論）	30
中等美術科指導法（教材論）	30
金属加工法	30
保育学	30
保育学実習	30
初等家庭科指導法A B	10
初等家庭科指導法C D	10
初等家庭科指導法免P	10
住居学（製図を含む。）	10
家庭	2
被服学	15
家庭電気・機械・情報	30
社会教育計画A	30
社会教育計画B	30
社会教育演習Ⅱ	30
博物館概論	15
博物館経営・情報論	30
学校図書館メディアの構成	14
博物館資料論	10
国語学習過程論	30
文学受容と意味生成	30
確率論	16
解析学B	16
学力診断論	30

② 教員養成実地指導講師

ア 教職に関する科目（教育実習の事前及び事後指導に関するものは除く）

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
総合・生活科指導法	生活科及び総合的な学習について、教育実習に必要な知識・技能を提供する。	16
初等国語科指導法	小学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法(授業論)	中学校の国語科授業における授業計画の立て方について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法(課程論)	中学校の国語科授業におけるカリキュラム開発について実践的な立場から説述する。	4
中等国語科指導法(学習論)	中学校の国語科教材の見方・扱い方について実践的な立場から説述する。	2
中等英語科指導法(授業論)	中学校の英語科授業における授業計画の立て方や評価について実践的な立場から学ぶ。	6
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数の指導展開の実際	8
算数科指導法	算数的活動を中心に据えた算数指導の評価の実際	4
数学科指導法	問題解決の立場に立つ数学の授業構成と展開の実際	6
数学科指導法	「数学的活動」を中心に据えた数学の指導と評価の実際	6
理科指導法演習	小学校理科の指導に関する展開例、実践例及び問題点	4
中等家庭科指導法(教材論)	中学校家庭科における教材の実際について講義を行う。	2
中等家庭科指導法(授業論)	中学校家庭科における授業の紹介、あり方の指導を行う。	2
中等家庭科指導法(教材論)	教育機器の利用法について講義と実際の使用について行う。	6
初等家庭科指導法	小学校家庭科の授業の実際について紹介を行う	6
初等家庭科指導法	小学校家庭科におけるいのちの大切さを教える授業紹介	6
中等技術科指導法(課程論)	技術科のカリキュラム開発と実践	4
中等技術科指導法(課程論)	技術科カリキュラム構成と実践(特に技術とものづくり)	4
中等技術科指導法(課程論)	技術科カリキュラム構成と実践(特に情報技術とコンピュータ)	2
中等技術科指導法(基礎論)	技術科教材研究の実践に関する基礎論	4
中等技術科指導法(基礎論)	技術科授業の構成と実践(特に技術とものづくり)に関する基礎論	4
中等技術科指導法(基礎論)	技術科授業の構成と実践(特に情報技術とコンピュータ)に関する基礎論	2
初等音楽科指導法	初等音楽科の授業に関する内容(目的, 教材, 指導法, 評価)	20
中等音楽科指導法(実践応用論)	中等音楽科の授業に関する内容(目的, 教材, 指導法, 評価)	6
中等音楽科指導法(授業論)	中等音楽科の授業に関する内容(目的, 教材, 指導法, 評価)	2
中等音楽科指導法(授業論)	小中連携に重点をあてた、中学校教育の実践について講義する。	2
中等音楽科指導法(実践応用論)	中学生の発達段階を考慮した効果的な指導法等について講義する。	2
総合演習(学校と食の教育)	人間と食との関係を総合的に理解すると共に、学校での食の教育に必要な知識や指導の方法を学習する。また、これまでの実践例の紹介を通じて食の教育への理解をより深める。	12
学習場面臨床学	子どもの学びの成り立ち・過程と、そこにおける教師の関わりについて実践的に理解する。	4
学習場面観察基礎	子どもの学びの場面に実際に臨みながら、その成り立ちと過程を観察し、子どもの学びの論理をとらえるための基礎的な実習を行なう。	2
特別支援教育概論Ⅰ(介護等体験の指導内容を含む)	特別支援教育の理念と実際についての基礎的事項及び介護等体験の理念と体験を実施する特別支援学校や社会福祉サービスの現状について理解を深める。	14
初等体育科指導法	小学校体育の授業づくりを演習する。	8
実践セミナーⅠ、Ⅱ「美術」及び実践場面分析演習「美術」	小中学校の教育現場の協力を得て模擬、研究授業を行い美術教育のあり方について学ぶ	4
体験学習A	教育活動創造の基礎となる経験を広げながら、生活・総合学習の理解と方法を学び、実践的力量を高める。	10
図画工作科指導法	小学校図画工作科の学習内容と指導方法について、理論的側面及び現場での授業実践の面から学ぶ。	6

イ 教科に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
総合・生活	生活科・総合的な学習の実際について、基礎的知識を提供する。	12
総合学習と生活科	小学校における生活科と総合的な学習の具体的な展開を講ずる。	10
家庭の教育と育児	少子化が進む現代の家庭教育及び保育所保育を取り上げ、とりわけ3歳未満の乳幼児の保育・教育について実践的な理解を深める。	12
実践セミナーⅠ・Ⅱ「家庭」	模擬授業を授業実践を位置づけ、授業計画及び授業評価について具体的に学習することを目的としている。	4
実践セミナーⅠ・Ⅱ「家庭」	家庭科の授業実践を行う際の計画・実施に必要な事柄を具体的に学習あうことを目的としている。	4
学習指導と学校図書館	学校図書館の活用およびその指導内容・方法について、実践的な立場から説述する。	10

ウ 教育実習の事前及び事後指導に関する科目

授業科目名	授業の趣旨・概要	年間授業時間数
保育実習Ⅱ	知的障害者施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
保育実習Ⅱ	母子生活支援施設の実態と具体的な指導法の理解を図る。	2
保育実習Ⅰ	保育所実態と具体的な指導法の理解を図る。	4
介護等体験(特別支援学校)事前指導(免P該当者)	教員免許状を取得するには、介護等体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	4
介護等体験(社会福祉施設)事前指導(学部・免P)	教員免許状を取得するには、介護等体験を行わなければならない。1年次に特別支援学校2日間及び2年次に社会福祉施設5日間の計7日間の介護等体験を実施する。	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、教育実習全体の心構えや学習指導案の作成指導等	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、音楽の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、体育の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、図工の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、国語の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、社会科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、算数の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、理科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、生活科の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、道徳の授業構想とそれに基づく学習指導案の作成指導	2
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を15グループに分けてグループ単位で実践的に習得させる。板書指導とその構造化の指導を担当する。また、表現テスト(話し方等)や教職キャリアガイダンスも一部担当する。	60
教育実地研究Ⅱ(授業基礎研究)	教育実習に向けて、学習指導上不可欠な基礎的技能を15グループに分けてグループ単位で実践的に習得させる。理科の授業づくりと理科の学習指導案の作成指導を担当する。	12

③ ティーチング・アシスタント

ア 修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
体験学習 A	古閑 他	前期	集中	30 時間
体験学習 C	西山・定本	通年	不定期	30 時間
体験学習 F	立屋敷 他	通年	不定期	30 時間
体験学習 G	大場孝・天野	通年	不定期	30 時間
体験学習 H	平野俊 他	通年	不定期	30 時間
ウォータースポーツ	清水 他	前期	集中	30 時間
マリンスポーツ	清水 他	前期	集中	30 時間
表現・相互行為教育演習	加藤泰・松本健・阿部亮	前期	火 1	30 時間
教育情報応用演習	井上	前期	月 4	30 時間
教育情報応用演習	大森	前期	月 5	30 時間
教育情報応用演習	高野	前期	水 2	30 時間
教育情報応用演習	石川	前期	火 1	30 時間
音楽	阿部亮 他	通年	木 3	20 時間
図画工作 A	洞谷・西村・高石・松尾・安部	前期	金 3	30 時間
図画工作 B	洞谷・西村・高石・松尾・安部	前期	木 1	30 時間
図画工作 C	洞谷・西村・高石・松尾・安部	前期	火 3	30 時間
図画工作 D	洞谷・西村・高石・松尾・安部	前期	木 4	30 時間
中国語・中国事情	黎	前期	月 3	30 時間
表現・〈子ども〉の活動 A B	西村 他	前期	金 1・2	30 時間
表現・〈子ども〉の活動 C D	阿部靖 他	前期	金 1・2	30 時間
算数科指導法 A B	高橋等 他	前期	木 2	15 時間
算数科指導法 C D	高橋等 他	前期	火 2	15 時間
初等音楽科指導法 A B	時得 他	前期	月 2	30 時間
初等音楽科指導法 C D	時得 他	前期	木 2	30 時間
初等体育科指導法 C D	加藤泰・下村義・周東	前期	水 1	30 時間
初等家庭科指導法 A B	得丸・佐藤ゆ・[高木]	前期	火 2	15 時間
初等家庭科指導法 C D	得丸・佐藤ゆ・[高木]	前期	火 1	15 時間
電気工学実験実習	川崎	前期	木 4	30 時間
造形基礎 A C	福岡・安部	前期	月 5	30 時間
指揮法	後藤	前期	木 5	30 時間
地理学野外実験	赤羽・佐藤芳・山縣	前期	集中	30 時間
書写書道 II	押木	前期	月 3	30 時間
心理学実験	中山・内藤・越	前期	木 3・4	30 時間
コンピュータ・プログラミング入門 A	高野	前期	木 3	30 時間

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数
地学実験	大場孝・天野	前期	月 4・5	30 時間
造形基礎 B D	西村・高石・松尾	前期	月 4	30 時間
木材手工加工法	東原	前期	月 4	24 時間
食科学実験 B	立屋敷	前期	月 4・5	30 時間
食生活論	立屋敷	前期	木 1	30 時間
被服学実験 A	佐藤悦	前期	集中	30 時間
微分積分学演習	谷川	前期	月 3	30 時間
工芸表現 B	高石	前期	木 5	30 時間
油彩画表現	洞谷・福岡	前期	火 4	26 時間
体験学習 E	高石	後期	不定期	30 時間
スノースポーツ	市川 他	後	集中	30 時間
表現・状況的教育方法演習	高石 他	後	月 5	30 時間
教育情報基礎演習	井上	後	月 4	30 時間
教育情報基礎演習	大森	後	金 3	30 時間
教育情報基礎演習	高野	後	金 4	30 時間
教育情報基礎演習	石川	後	木 2	30 時間
総合演習（学校と食の教育）	立屋敷	後	月 5	30 時間
保育・表現の指導法	大山・阿部（靖）	後	火 3	30 時間
調理の理論と実習	立屋敷	後	火 3～5	30 時間
被服製作の理論と実習	佐藤（悦）	後	火 3～5	30 時間
冬季野外運動（スキー）	市川	後	集中	30 時間
生物学実験	小川（茂）	後	木 4・5	30 時間
計算機数学演習	中川	後	木 4	30 時間
コンピュータ・プログラミング入門 B	高野	後	月 3	30 時間
カウンセリング基礎演習	高橋（靖）	後	水 1	30 時間
書写書道 I	押木	後	月 2	30 時間
数学基礎演習	溝上	後	火 4	30 時間
食科学実験 A	光永	後	月 4・5	30 時間
機械工学実習	黎	後	木 4	30 時間
伝統絵画表現と鑑賞	福岡・洞谷	後	火 5	30 時間
物理学実験	西山・室谷・定本	後	月 3・4	30 時間
日本画表現	洞谷・福岡	後	火 4	30 時間

担当教員の [] 書きは、非常勤講師を表す。

イ 博士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
臨床心理基礎実習Ⅰ	内田一成 他	前期	木 3・4	43	時間
臨床心理基礎実習Ⅱ	内田一成 他	後期	木 3・4	57	時間
地域研究実験	佐藤 芳徳	前期	不定期	57	時間
音楽学演習	茂手木潔子	前期	火 2	28	時間
日本音楽演奏研究	茂手木潔子 〔福永千恵子〕	前期	木 2	14	時間
実践場面分析演習Ⅰ・Ⅱ「音楽」	茂手木潔子	前期	月 5	28	時間
木工芸研究	西村 俊夫	前期	木 1・2	57	時間
メディアデザイン研究	西村, 安部	後期	月 1・2	57	時間
工芸表現A	西村 俊夫	後期	木 5	28	時間
実践場面分析演習Ⅰ「家庭」	得丸定子 他	前期	火 5	19	時間
家庭科教育学研究セミナーⅡ	得丸定子 他	通年	火 4	57	時間
家庭科教育学演習	佐藤ゆかり	後期	水 2	28	時間

担当教員の [] 書きは, 非常勤講師を表す。

④ ティーチング・サポーター

修士課程学生

授 業 科 目 名	担当教員	学期	曜日 時限	任用時間数	
国語（書写を含む。）	押木 他	前	金 1 集中	30	時間
社会	小島 他	前	火 5	30	時間
音楽	平野 他	通年	月 6	60	時間
初等音楽科指導法	峯岸	前	水 6	30	時間
図画工作	洞谷 他	前	木 6	30	時間
体育	市川 他	前	集中	30	時間
家庭	得丸 他	前	月 2	30	時間
道徳の指導法	林	前	金 6	30	時間
特別活動論	橋本		集中	30	時間
初等体育科指導法AB	加藤泰 他	前	月 1	30	時間
初等家庭科指導法	得丸 他	前	木 6	20	時間
理科	高津戸 他	後	月 2	30	時間
図画工作科指導法	阿部靖	後	木 6	25	時間
生徒指導論	安藤	後	月 1	15	時間
教育相談・カウンセリング論	宮下 他	後	木 2	30	時間

⑤ リサーチ・アシスタント

任用期間	研究補助業務担当時間数	研究プロジェクト等名	左の中心的組織名	研究プロジェクト代表者
6月 1日～3月31日	200時間	ハルビン師範大学との連携事業	学校教育研究科	内田 一成 教授
6月 1日～3月31日	200時間	中国東北部における水文環境の変化及びその教材化に関する研究	学校教育研究科	佐藤 芳徳 教授
6月 1日～3月31日	200時間	造形ワークショップにおける子どもの造形の相互行為分析研究	学校教育研究科	西村 俊夫 教授